

2011年駅伝Aチーム夏合宿レポート (於)長野県

走る！駆ける！跳ぶ！の35日間

1 鈴木従道駅伝ヘッドコーチ談話



鈴木ヘッドコーチ



コースを測量する鈴木ヘッドコーチと木内マネージャー



夏合宿Aチーム

選手の動きに力強さが出て来た。

8月7日に開催された「第64回十和田八幡平駅伝競走全国大会(5区間73.8km)」で日大チームAは第2位、Bチームは16位と順調な仕上がりを見せ、区間賞も1区佐藤佑輔18.6km 41分4秒 2区堂本尚寛13.4km 37分39秒と社会人、大学選手と競い、区間1位を叩き出す等良い結果を出してくれた。

このチーム力と夏合宿で第88回箱根駅伝予選会(10月15日)立川昭和の森記念公園)で上位入賞を目指す。



合宿の食事風景 手製料理で栄養管理

2 堂本尚寛主将語る



(a) 本年度の目標

箱根駅伝のシード権確保と名門日大駅伝チームのレベル向上に努力し、強い駅伝部にする事を第一目標とする。

不言実行をモットーにチームをまとめ、常にキャプテンとしての責任を果し、チームの流れを作ることの出来る強いキャプテンでありたい。



(b) チームについて

鈴木ヘッドコーチ指導の下に、チーム全体がモチベーション・結束力が高まり練習・生活時間の無駄が減少している。その事が中味の濃い練習量の増加に繋がり10月の予選会、11月の全日本(伊勢路)本番の箱根駅伝が楽しみになってきた。予選会はTOP通過を目標として本大会進出を果したい。

3 合宿風景 鍛える選手達

